

**食品に関するリスクコミュニケーション（東京）
OIEの役割とBSEの国際基準
アンケート集計結果**

開催日：2005年3月10日（木）

参加者数：125名 回答数：80名 回答率：64%

問1. あなたご自身のことや食品の安全性に関するお考えについてお聞きします。

性別

回答内容	件数	割合
1. 男性	66	82.5%
2. 女性	14	17.5%
無回答	0	0.0%
	80	100.0%

年齢

回答内容	件数	割合
1. 20歳未満	0	0.0%
2. 20歳代	9	11.3%
3. 30歳代	8	10.0%
4. 40歳代	24	30.0%
5. 50歳代	21	26.3%
6. 60歳代	15	18.8%
7. 70歳以上	3	3.8%
無回答	0	0.0%
	80	100.0%

職業

回答内容	件数	割合
1. 消費者団体	4	5.0%
2. 主婦、学生、無職	4	5.0%
3. 生産者	1	1.3%
4. 食品関連事業者	37	46.3%
5. マスコミ	5	6.3%
6. 行政	13	16.3%
7. 食品関連研究・教育機関	2	2.5%
8. その他	13	16.3%
商社(1) 飲食店(1) 肥料関係(1)		
大使館(1) 他分野活字団体(1)		
外国公館(1) 業界団体(1) 焼肉店(1)		
一般消費者、海運業(1)		
生命科学非常勤講師(1) 未記入(3)		
無回答	1	1.3%
	80	100.0%

本日の意見交換会に参加された動機

回答内容	件数	割合
1. OIEの役割やBSEの国際基準に関する情報を入手したかったから	53	66.3%
2. BSEの国際基準に対して不安感があったから	4	5.0%
3. 日本のBSE対策に対する不安があったから	5	6.3%
4. 講演者に、直接、質問や意見を言いたかったから	2	2.5%
5. 日本の行政や専門家に直接意見を言いたかったから	2	2.5%
6. 業務の一環として参加する必要があったから	12	15.0%
7. その他	1	1.3%
未記入(1)		
無回答	1	1.3%
	80	100.0%

食品安全に関する意見交換会への参加回数（今回を含めて）

回答内容	件数	割合
1.初めて	19	23.8%
2.2回目	9	11.3%
3.3回目	15	18.8%
4.4回目	6	7.5%
5.5回以上	30	37.5%
無回答	1	1.3%
	80	100.0%

「100%安全な食品はないこと」について、あなたはどのように思われますか。

回答内容	件数	割合
1.強くそう思う	53	66.3%
2.ややそう思う	17	21.3%
3.あまりそう思わない	2	2.5%
4.全くそう思わない	4	5.0%
5.わからない	2	2.5%
無回答	2	2.5%
	80	100.0%

問2. 本日の意見交換会の実施方法についてお聞きします。

開催方法（参加手続き・場所・所要時間）

回答内容	件数	割合
1.とてもよかった	9	11.3%
2.よかった	47	58.8%
3.あまりよくなかった	16	20.0%
4.全くよくなかった	0	0.0%
5.わからない	1	1.3%
無回答	7	8.8%
	80	100.0%

専門家による講演

回答内容	件数	割合
1.とてもわかりやすかった	14	17.5%
2.わかりやすかった	46	57.5%
3.わかりにくかった	15	18.8%
4.全くわからなかった	0	0.0%
無回答	5	6.3%
	80	100.0%

配布資料

回答内容	件数	割合
1.とてもわかりやすかった	11	13.8%
2.わかりやすかった	50	62.5%
3.わかりにくかった	17	21.3%
4.全くわからなかった	0	0.0%
無回答	2	2.5%
	80	100.0%

意見交換時における講演者の応答

回答内容	件数	割合
1.とてもわかりやすかった	15	18.8%
2.わかりやすかった	36	45.0%
3.わかりにくかった	13	16.3%
4.全くわからなかった	0	0.0%
無回答	16	20.0%
	80	100.0%

個人に関する情報を除き、原則、原文を掲載しています。

ご意見・ご感想

1	食品安全委員会もOIE基準を明確に国民に伝えるべきだと思います。
2	非常に有用であった。今後もこのような会を期待する。
3	・消費者側が今だに全頭検査を言っているのに違和感あり(一部の人と思うが~)。・米国の国民が食してる牛肉が、なぜ我々は食べられないの不思議な疑問がある。・日本人の食の安全性の考え方にはあまりに神経質と思う。そこまで行きついた不正も多すぎた。
4	・米国産牛肉の輸入再開は、政治や行政レベルでの判断ではなく、消費者とのリスクコミュニケーションを十分実施した上で行ってほしいと思っています。・BSEに関する講演内容の同時通訳がわかりにくかった。講演内容が正確に伝わったか不安である。・OIEの役割についてはよくわかった。
5	ヴァラ博士の「全頭検査の必要はない。」講演に全く同感です。SRM除去が国際基準である事を認めて(政府が)米国産牛肉の全面解禁をする事を強く望みます。
6	なぜBSEがこんなに騒ぎになるのか、私にはわからない。日本は世界に物を輸出して成り立っている国家なのに、ことBSEに対して政治・マスコミ・各団体が大騒ぎになる。食の安全・安心と言うが、0リスクの物ってあるのでしょうか。たとえ0.1%でも、危険だ危険だと言えば100%危険になってしまうのでは?輸入を止められている今、困っている人がたくさんいます。助けて下さい。食品安全委員会の先生、早く結論を出して下さい。
7	訳が不確かなところがあった。数字ははっきりと訳してほしい。
8	・一日も早い輸入(牛肉)を望む。・行政の対応がおそい。
9	BSEにおけるリスクを考えると安全という事がわかるが、日本の行政の動きに不満である。なぜもっと早く対応をしてくれないのか。
10	・BSEの元である羊の腸をOKとしているのはなぜか?・意見交換時間が少なすぎる。
11	消費者の安全よりもOIEの立場を強調するものであり、科学者や行政関係者と言えども消費者、つまり国民の生命を第一に考えるべきである。科学は万能でないことを認識すべきである。
12	食品安全委員会はBSEに関して早急な結論を出すべきである。いたずらに時間を浪費している様に見受けられる。米国等からの牛肉輸入問題についても、早急な結論、判断が待たれる。
13	OIEの組織説明の時間が多すぎ。肝心のBSEカテゴリー変更など中心的話の時間が短かった。大事な部分をしっかり話していただき、参加者の理解に資するよう事務局の今後の対応を望みます。OIEカテゴリー変更の内容から、米国の政治的介入はないといえるのだろうか?BSEはマイナーなものとしての認識は、その原因や発生メカニズム、防止方法をOIEが解明する努力をした上で語るべき言葉と思った。
14	1、今回2回目の参加となりましたが、質問者(意見を言う人)は前回と同じです。広く公平な意見が聞けるような場になっていないように思います。2、「世界のBSE基準」をテーマとしているのであれば、「国際基準」と「日本の基準」と「米国の基準」など平例な関係で対比しながらOIEの見解などが説明されればもっと良かったと思います。
15	通訳の方が入っている事もあるかも知れませんが、質問と答えに開きがあるようです。
16	OIEの存在と役割が良く分かりました。日本が米国から輸入を依頼されている問題について、第三者機関として機能してもらいたい。
17	科学的根拠を元に食品安全委は進めてもらいたい。精神的に「いやだ!!」などを何回も聞いている必要はない。一人一人が消費者です。米国牛肉輸入の再開を!!
18	講演会だったのにいつのまにか意見交換会になっていたのはなぜだろう。今日の質問などで、東京のBSE対策の意見という形でまとめられてしまったら、食品安全委員会の姿勢に疑問を感じる。後半のOIEの意見等改正が行われ、どこがどういう形で反対しているのか知りたかった。そのあたりにかける時間が少なかった。
19	一般消費者、学者との意見の立場、見解のかい離をうめることは難しいと思います。でもやらねば。これは会社業に関することだと思います。
20	Q&Aの時間がもう少しあればよかった。
21	・講演は直訳すぎ。また時間がない為に理解しづかった。・意見交換は、講演についてのみでは、本当のリスクコミュニケーションとは言えないと思う。・BSE対策について、本当の意見交換の場を別に持つべき。また、このようなリスクだけで意見を取り入れるのは不十分だと思う。国民へのアンケート調査なども必要ではないか?もっと消費者レベルでのコミュニケーションを行うべき。
22	日本は、アメリカ、カナダ産の牛肉の輸入を禁止しているが、メキシコ、チリ、中国(加熱)の牛肉は輸入許可している。食品安全委員会は、メキシコ、チリ、中国の牛肉に対してリスク評価すべきだと思う。
23	訳文は正確に。朝日新聞の人以外は、質問者はいつものメンバーですね。しかも、質問というより主張のようなこともあったし...
24	時間が少ない。もっと会場の人の意見を出してやってはどうか?
25	BSEによる人の死者と飲酒運転死亡事故の死者数を比較すべき。飲酒運転常習者へ車の販売をした者も処罰すべき。BSEだけが危険でない。食の安全に努めるのは当然であるが、他のリスクは放置すべきでない。タバコの販売は禁止するか、重税を課すべき。
26	食品安全委員会はOIEの国際基準に従うべきだと思う。農水省のカイワレ問題から始まる不祥事の為にスタートした全頭検査など必要ないのでは。検査は税金を投入するのではなく、各生産者が必要なら自費で行われるべきである。北米の牛肉は1年3ヶ月もBSEが出ていない極めて安全なもの。輸入規制はする必要なく、30ヶ月での基準でOK。経済的にも安い牛肉を早く食べられるようにしてもらいたい。

27	同時通訳にご苦勞なされた様です。講演者の話がわかりづらかったのかどうかはわかりませんが、所々意味を取りづらい時があった。専門用語、表現がむずかしかったでしょうか。
28	<p>・問1の設問が誘導尋問的でよくない。100%安全な食はないが安全に向けて努力すべきである。6、その他を入れて下さい。・感度のいいテストが3つ開発されそうだが、ひとつは夏に出来そうだが、検討は？・OIEは世界の動物の感染症の防疫機関とのことですが、米国にBSE対策改善の提言を何故行わないのか？EUの食品安全局は米国を「急激にBSEが拡大する確率が極めて高い」としています。米国精肉加工の検査官労働組合が「危険部位などともに出来ていない」と内部告発している上、上院議院の が、米国の飼料の大きな抜け穴について改善を2度も要求しているのに改善されていない。是非、OIEとして改善提言を行って頂きたい。世界の安全がかかっていると思います。・日本はまだ危険部位除去さえもできていない。中間とりまとめ案によると52.5%しかSRMが除去できていない加工場さえある。ピッシングも行っているこんな状態で検査までやめたら、真実を知ったら誰も肉を食べなくなると思います。なお、vCJDが普通の生活でうつらないというのはやめて頂きたい。理容印のかみそり、院内感染に問題がある歯科もまだまだある。人の胎盤を注射して美容、美白をすすめる美容外科は野放し状態。しかも、その使用者からの献血規制はまだない。英仏1日滞在者の献血規制より、薬事法違反に問われたプラセンタ製剤の使用者の献血規制をする方が先だと思う。英国は美容業界の乱用されまくる人由来製剤の規制に入るそうである。日本もすぐ、緊急に規制してほしい。最後に、テキサスのBSE疑い牛が未検査処分されたことなどを見ると、今の米国はSARS発覚前の中国に見えてしまいます。日本からも対策改善の提言をお願いします。・OIEの新改正案は、次々と発見される最近の新知見に対応していないようにみえるが、炎症部位からプリオンとかBSE羊が潜伏期間中の輸血で感染したとか、さるがたつた50mgの脳で感染したことなどや、今後また新知見がでたらどう改善案に組み入れていくのか？知りたく思いました。・OIEは隠蔽やごまかしに対するチェック基準も作成するべきだと思いました。私達が一番心配しているのは、隠蔽、偽装、開き直りにより病気が拡大することです。そうした基準がないと、BSE以外にもSARSや鳥インフルエンザなど、新しい病気が出てきたときに、自国利益のために隠す国が出てくるため対応ができないので、ぜひそのようなチェック基準（信用度）も作ってほしい。・「政治的な病」にかかってはいけないという先生の発言に感動した。</p> <p>・OIEは腸の食用を禁止しているが、日本人が食用していることについてどう思うか。そして、脳にたまる前に炎症部位にプリオンがたまるのであれば腸炎、胃炎、関節炎、乳房炎は大丈夫か心配に思った。OIEは3つの新カテゴリーの他に、4、うさんくさい国というカテゴリーもつくるべき。</p>
29	・5つのカテゴリーの国を教えてください。・肉骨粉との範囲は？例えば血粉は含まれるのですか。・OIEの基準は緩和の方向にあり、非常に危険があると思いました。・全頭検査継続を！・地方でも開催を。ぜひ回答下さい。
30	・あまりにも抽象的な答えで良くわからなかった。もっと明確に答えて欲しい（中立だから？）と思った。・現在でも日本国内の検査体制が確実なものではないのに、月令で検査をしなくなることで、ますます危険が増すのではなか？現行の全頭検査を続け、危険部位の除去、と畜方法の確立によって軽減されていくと思う。問1：こういう質問をするこの意味がわからない！！
31	メキシコからの輸入が増えています（04年急増）、メキシコはレベルの国であるにも関わらず、危険部位を除かなくても良いとなっているようです。メキシコから小腸、大腸、胃等も輸入されているようです。心配です。メキシコの現状を詳しく知りたいと思えます。情報入手について、どのような手段があるのでしょうか。できましたらお返事をいただけるとありがたいです。
32	野次はやめさせましょう。
33	今後の急展開に期待。
34	通訳が良くない。専門用語は事前にきちんとチェックしておいてほしい。意味が通らなくなる。
35	カテゴリー、コーデックス等難しい内容あり。事前の説明が必要だった。
36	OIEが中心となって、世界各国が牛等のトレーサビリティを確立するように働きかけて行って欲しい。対米での問題もトレーサビリティが行われていれば、前へ進むと思います。
37	消費者レベルが低い。わがままは如何ともしがたい。
38	もっと時間が欲しかったです。消費者とのコミュニケーションがとれていないことがよくわかって面白かったです。
39	・政府関係者の発言の中、安全委員会への期待は大きい。BSE問題は先ず、科学的判断を尊重すべきだ。政策や経済的判断は二次的問題と思う。この点で、安全委員会の主体的判断（雑音に影響されない）が望まれる。・安全委員会委員と市民との意見交換の場が欲しい（特定の課題について）。・市民の支持を得て（それを力として）、安全委員会の正しい発言を期待します。
40	傍聴者の写真撮影は何時までOKとするのか。講演中にあまりにも長く撮影していると目障り。・スグリーンの下のほうが切れている。
41	PDFなどで資料を前もって配布できるならそのほうがベターでは？FAXでもかまわないと思います。その方が、事前理解により深い認識と意見交換会が可能かと。
42	1、もう少し具体的な内容が欲しかった。特定危険部位の改正案について。2、時間が少ない。3、リスクコミュニケーションとするからには、BSEの現在我国での問題点とOIEの見解の相違、方向についてのdiscussが欲しい。
43	専門家は確かに食中毒（サルモネラ）より影響少ないと言うが、やはり危険であるのだから、できる限り原因と対応策を検証する必要がある。安全な食品はないというのわかるが、逆にこれは危険とわかっているものを、できるだけ安全にするのが機関、行政、科学者の役割ではないか。安全なのがないからこれでいいとはいかなでほしい。
44	・表示を明確にして販売すれば良いと思う。・どんな物にもリスクはあるのだから、消費者が何を購入するか決めれば良い。（・消費者団体へ、なぜ牛乳は安全なのですか？全頭検査をしていない牛ですよ！！）・開催時間は他の方が来られるような時間帯を考えて欲しい。
45	・消費者等にもっと理解してもらうには、難しくても時間が短すぎると思います。専門家のための意見交換会としてならいいと思いますが、何を伝えたいのか、何を理解してもらいたいのかが、はっきりしない意見交換会であったと思う。消費者や業界団体等が知りたいことではない気がした。
46	・OIEのホームページについて、日本語にしたものをお願いしたい。また、もっとリアルタイムにサーベランス情報をだしてほしい。・やはり同時通訳は大変である。あらかじめ話す内容をもっとわかりやすくしてもらいたかった。それにOIEが基準を作ることはわかっていたが、OIEはもっと各国の情報を発信して欲しい。・2月4日、国内初となるvCJD患者が出ましたが、それによると1990年の前半に24日間滞在しており、そこで感染したものとされており、わずか24日間で本当に感染するのでしょうか。日本で感染したが、もっと調査する必要があるのではないのでしょうか。たとえば若年性ちほう症の実態などを調査すべきだと思います。また、なぜもっと早くわからなかったのでしょうか。もっと患者がいるのではないのでしょうか。・焼肉協会の人が大勢参加して不愉快であった。今後行うときは考えるべきである。